

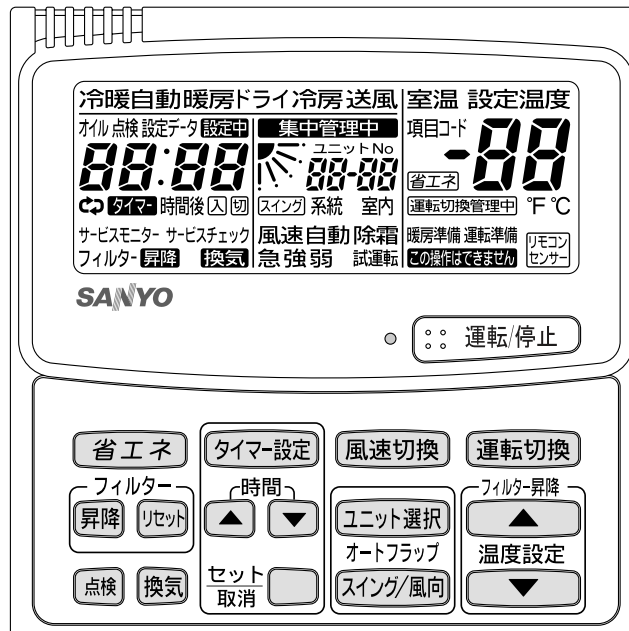
ワイヤードリモコン / RCS-SH80B, SH80A...別売品 詳細設定機能

リモコンのサービス機能について

リモコンには、各種サービス機能があります。試運転、点検時等、必要に応じてご利用ください。

サービス機能一覧表

機能	機能概略	ボタン操作		復帰操作	ユニットの状態
		RCS-SH80B	RCS-SH80A		
試運転	強制サーモONで運転	点検 ボタンを4秒以上押す			運転状態を維持
センサー温度表示	各種センサーの温度表示	点検 + セット/取消 ボタンを同時に4秒以上押す	点検 + 取消 ボタンを同時に4秒以上押す		
サービスチェック表示	警報履歴の表示	点検 + タイマー設定 ボタンを同時に4秒以上押す (履歴の削除は セット/取消)	点検 + セット ボタンを同時に4秒以上押す (履歴の削除は 取消)		
簡単設定	フィルター寿命、運転モード優先、集中制御アドレス等の設定	点検 + 換気 ボタンを同時に4秒以上押す		点検 ボタンを押す	設定中のリモコンが接続されている室内ユニットが停止
詳細設定	システムアドレス、室内ユニットアドレス、集中制御アドレス等の設定	点検 + 換気 + セット/取消 ボタンを同時に4秒以上押す	点検 + セット + 取消 ボタンを同時に4秒以上押す		
自動アドレス	ワイヤードリモコンからの指示による自動アドレス	点検 + タイマー時間 <input type="checkbox"/> ボタンを同時に4秒以上押す		自動復帰	全システムが停止
アドレス変更	室内ユニットアドレスの変更	点検 + タイマー時間 <input type="checkbox"/> ボタンを同時に4秒以上押す		点検 ボタンを押す	



ワイヤードリモコン / RCS-SH80B, SH80A...別売品 試運転機能

試運転機能

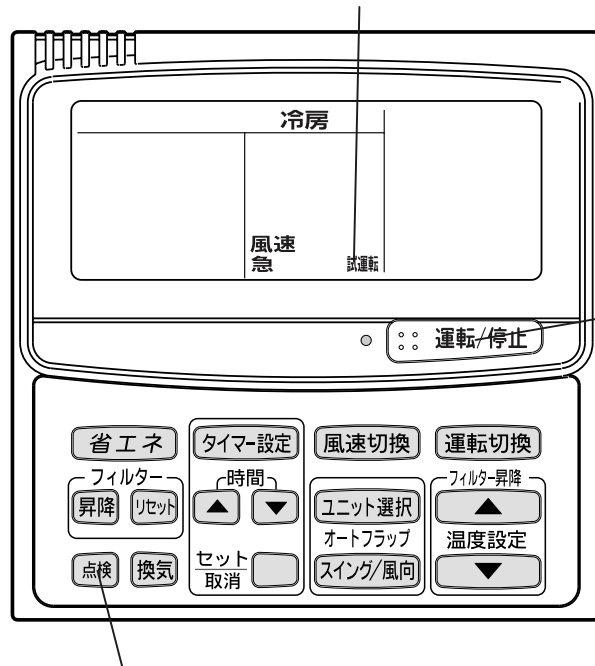
強制サーモON状態にて運転させます。

操作手順

点検 ボタンを4秒以上押し続けます。
リモコンの液晶表示部に「試運転」が表示されます。(図 - 1)

運転操作を行います。

点検 ボタンを押すと通常のリモコンに戻ります。



(図 - 1)

ワイヤードリモコン / RCS-SH80B, SH80A...別売品 センサー温度表示機能

センサー温度表示機能(運転・停止に関係なく表示します。)

下記の確認方法により、リモコン、室内ユニット、室外ユニットの各センサー温度をリモコンに表示します。

確認方法の手順

- ① **点検** + **セット / 取消** ボタンを同時に4 秒以上押しつづけます。(SH80Aは **点検** + **取消** ボタン)
- ② リモコンの液晶表示部に、ユニット No. X - X (親機 No.)、項目コードXX(センサーアドレス)、サービスモニター **00** XX (センサー温度) が表示されます。(右図参照)
- ③ 温度設定 / ボタンを押して項目コードをモニターしたいセンサーアドレスに変更します。(センサーアドレスとセンサの種類の間連については下記のセンサー温度対照表を参照してください。)
- ④ グループ制御の時は **ユニット選択** ボタンを押してモニターしたいユニットに変更します。
- ⑤ **点検** ボタンを押すと通常のリモコンに戻ります。

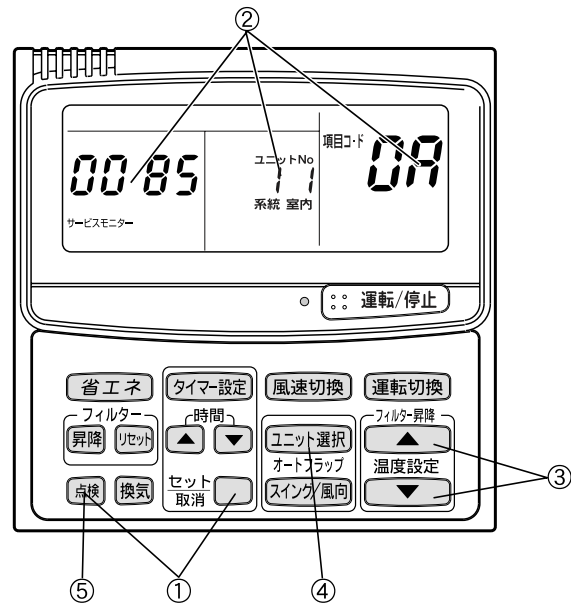


図: No.1 - 1ユニットの吐出温度
85 の場合の表示例

注意 ・ 接続されていないユニットの温度表示は“ - - - - ”となります。

通常運転中に、モニターモードに切替った場合、液晶表示が変わるのは図に示す部分のみです。他の表示は通常運転中の表示のまま変わりません。

センサー温度対照表

室内ユニット側	
02	吸い込み温度
03	E1
04	E2
05	E3
06	吹き出し温度
07	吹き出し設定温度
08	室内ユニット電動弁開度

室外ユニット側				
1号機	2号機	3号機	4号機	
0A	2A	4A	6A	吐出温度1
0B	2B	4B	6B	吐出温度2
0C	2C	4C	6C	高圧センサー温度
0D	2D	4D	6D	熱交ガス1
0E	2E	4E	6E	熱交液1
0F	2F	4F	6F	熱交ガス2
10	30	50	70	熱交液2
11	31	51	71	外気温度
12	32	52	72	-
13	33	53	73	検査用
14	34	54	74	CT2
15	35	55	75	検査用
16	36	56	76	検査用
17	37	57	77	吐出温度3
18	38	58	78	CT3
19	39	59	79	検査用
1A	3A	5A	7A	検査用
1B	3B	5B	7B	熱交ガス3
1C	3C	5C	7C	熱交液3
1D	3D	5D	7D	低圧センサー温度
1E	3E	5E	7E	レシーバー温度
1F	3F	5F	7F	オイル1
20	40	60	80	オイル2
21	41	61	81	オイル3
22	42	62	82	検査用

ワイヤードリモコン / RCS-SH80B, SH80A...別売品 警報表示内容

1 リモコンスイッチの警報表示の内容

[:点灯 ☀:点滅 ●:消灯]

検出内容		ワイヤードリモコン表示	ワイヤレスリモコン受信部表示		
シリアル通信異常・誤設定	リモコンが、室内ユニットからの信号の異常を検出	シリアル信号の受信不良 (グループ制御の場合は親機からの信号) 室外システムアドレス、室内ユニットアドレス、室内ユニットの個別/親/子設定が未定 (自動アドレス未了) シリアル信号の送信不良	< E01 > ● ● ● ☀ ● ●		
	室内ユニットがリモコンおよび集中制御機器からのシリアル信号の受信不良	< E02 >			
	室内ユニットが室外ユニットからの信号の異常を検出	・シリアル信号の受信不良 ・電源ON時に接続台数と設定台数の不一致 (システムアドレスが「0」以外の場合) ・同一冷媒システム室内ユニットのグループ配線不良 (但し、自動アドレス直後のリモコン操作時)	E04	● ● ● ☀ ● ●	
	室外ユニットが室内ユニットからの信号の異常を検出	・シリアル信号の受信不良 ・電源ON中に信号を送信しない 室内ユニットが発生	E06	● ● ● ☀ ● ●	
	設定不良	室内ユニットアドレスの重複	< E08 >		
		リモコン親設定の重複	< E09 >	● ● ● ☀ ● ●	
	設定不良	自動アドレス開始禁止 自動アドレス開始時にAPピンが短絡されている	E12	● ● ● ☀ ● ●	
	グループ制御配線の室内ユニット通信異常	室内親機が室内子機からのシリアル信号の受信不良	E18	● ● ● ☀ ● ●	
	設定不良	・自動アドレス設定中に接続台数と設定台数の不一致	室内ユニット接続台数が設定台数より少ない	E15	● ● ● ☀ ● ●
			室内ユニット接続台数が設定台数より多い	E16	
自動アドレス中室内ユニット無し			E20		
室外親機が、室外他号機からのシリアル信号受信不良			E24		
		室外ユニットアドレスの重複	E25	● ● ● ☀ ● ●	
		室外台数不一致	E26		
		室外他号機が、室外親機からのシリアル信号受信不良	E29		
		室外ユニットシリアル送信不良	E30		
設定不良		接続された室内ユニットがマルチ用ではない	< L02 >		● ● ● ☀ ● ●
		グループ制御の室内ユニットの親機重複	< L03 >		
	室内ユニット優先重複(優先室内ユニット用)	L05			
	室内ユニット優先重複(優先でない室内ユニット用)と室外ユニット	L06			
	個別制御の室内ユニットにグループ制御配線あり	L07			
	室内ユニットアドレス未設定	L08			
	室内ユニット能力未設定	< L09 >			
	室外ユニットの機種不一致	L17			
	室外システムアドレスの設定重複	L04	● ● ● ☀ ● ●		
	室外ユニット能力未設定	L10	● ● ● ☀ ● ●		
サーミスター異常	室内ユニット	熱交温度センサー E1	< F01 >	● ● ● ☀ ● ●	
		熱交温度センサー E3	< F03 >		
		吸込温度センサー	< F10 >		
		吹出し温度センサー	< F11 >		
	室外ユニット	圧縮機1(INV)吐出温度センサー	F04	● ● ● ☀ ● ●	
		圧縮機2(定速)吐出温度センサー	F05		
		圧縮機3(定速)吐出温度センサー	F22		
		外気温度センサー	F08		
		室外熱交換器1液(出口)温度センサー	F07		
		室外熱交換器1ガス(入口)温度センサー	F06		
		圧縮機入口温度センサー	F12		
		高圧センサー	F16		
		低圧センサー	F17		
		室外熱交換器2液温度センサー	F24		
		室外熱交換器2ガス温度センサー	F23		
		室外熱交換器3液温度センサー	F26		
		室外熱交換器3ガス温度センサー	F25		

ワイヤードリモコン / RCS-SH80B, SH80A...別売品 警報表示内容

[:点灯 ☀:点滅 ●:消灯]

検出内容		ワイヤードリモコン表示	ワイヤレスリモコン受信部表示
天井パネル接続不良		< P09 >	
保護装置	室内ユニット保護	送風機保護サーモ	< P01 >
		フロートスイッチ	< P10 >
		ファンインバーター保護機能動作	< P12 >
		O2センサー動作	P14
	室外ユニット保護	圧縮機1(INV)吐出温度異常	P03
		高圧スイッチ	P04
		逆相(欠相)検知	P05
		DCCT, ACCT過電流(圧縮機80Hz未満)	P16
		圧縮機2(定速)吐出温度異常	P17
		圧縮機3(定速)吐出温度異常	P18
		室外送風機異常	P22
		DCCT, ACCT過電流(80Hz以上)	P26
		圧縮機線欠相, DCCT不良などによる始動不良 (INVコンプ起動不良)	P29
室内コントロール基板上の不揮発性メモリ(EEPROM)不良		F29	運転ランプと タイマーランプが同時に点滅 運転 ☀ タイマー 暖房準備 ●
室外ユニット不揮発性メモリ(EEPROM)異常		F31	運転ランプと タイマーランプが同時に点滅 運転 ☀ タイマー 暖房準備 ☀
保護装置	過負荷電流検出	圧縮機2(定速)	H11
		圧縮機3(定速)	H21
	ロック電流検出	圧縮機2(定速)	H12
		圧縮機3(定速)	H22
	圧縮機ON時に電流検出なし	圧縮機1(INV)	H03
		圧縮機2(定速)	H13
		圧縮機3(定速)	H23
	吐出温度センサー異常	圧縮機2(定速)	H15
		圧縮機3(定速)	H25
室外ユニット保護	低圧スイッチ	H06	
室外ユニット保護	HIC異常警報	H31	
オイル無し警報		H07	タイマーランプの点滅 運転 ● ☀ 暖房準備 ●
オイル検知センサー接続不良	圧縮機1(INV)	H08	
	圧縮機2(定速)	H27	
	圧縮機3(定速)	H28	
電磁接触器の溶着(圧縮機OFF時に電流検出あり)		点検のみ点滅	(表示の変化なし)
自動バックアップ運転			

< >の警報表示の場合：他の室内ユニットの運転に影響しません。

の警報表示の場合：場合により、他の室内ユニットの運転に影響があります。

ワイヤードリモコン / RCS-SH80B, SH80A...別売品 警報表示内容

2. 室外コントロール基板上的LED表示

【 ○: 点灯 ☀: 点滅 ●: 消灯 】

LED赤		表示内容
1	2	
○	○	電源投入後(自動アドレス中ではない)、自分の系統の室内ユニットと全く通信ができない。
(同時点灯)		
●	○	電源投入後(自動アドレス中ではない)、自分の系統の室内ユニットを1台以上認識しているが、室内ユニット台数が設定台数と一致していない。
(消灯)	(点灯)	
●	●	自動アドレス正常終了。(電源投入後[自動アドレス中ではない]、自分の系統で接続確認された室内ユニット台数と設定台数が一致し、定期通信を行っている。)
(同時消灯)		
☀	☀	自動アドレス中。
(交互点滅)		
☀	☀	自動アドレス時、室内ユニット台数が設定台数と一致していない。
(同時点滅)		
☀	☀	警報を表示
(交互点滅)		LED1がM回点滅後、LED2がN回点滅。これを繰り返す。 M=2回:P警報、3回:H警報、4回:E警報、5回:F警報、6回:L警報 N=警報番号の数 例)LED1が2回点滅後、LED2が17回点滅。これを繰り返す。 警報は“P17”となる。

ワイヤードリモコン / RCS-SH80B, SH80A...別売品 施工

リモコンスイッチ付属品

番号	付属部品	個数	番号	付属部品	個数
①	リモコンスイッチ (配線200mm付属)	1	④	スペーサー	2
②	小ネジ M4×25	2	⑤	ワイヤージョイント	2
③	木ネジ	2	⑥	据付工事説明書	1

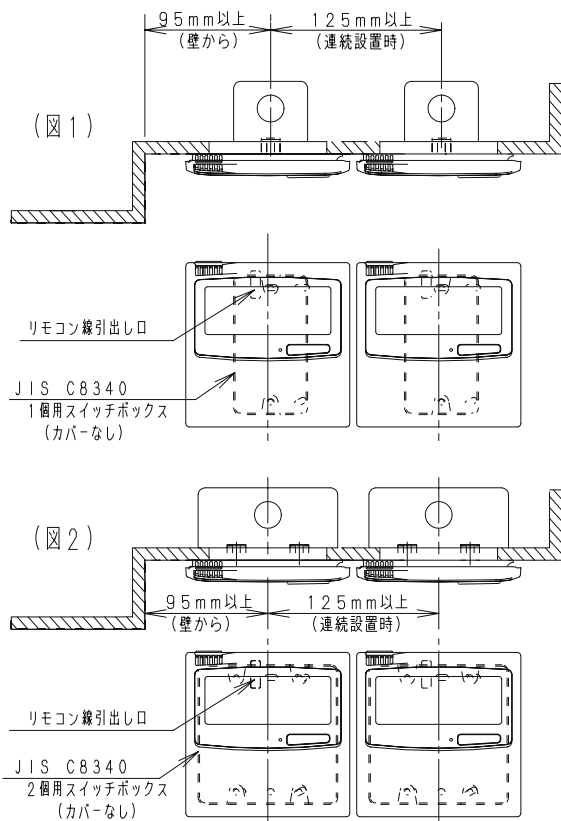
リモコンスイッチの設置方法のお願い

設置場所

- リモコンの取付け高さは、床面より1~1.5mの範囲内にして、室内の平均的温度を感じる場所に設置してください。
- 直射日光や直接外気が当たる窓際等への設置はしないでください。
- 室内の空気の流れから外れた物かげや物の裏側等に設置しないでください。
- このリモコンは防湿・防滴仕様ではありませんので、冷凍・冷蔵庫内には設置しないでください。
- リモコンは、必ず壁面等に垂直に設置してください。

連続設置の場合の取付方法

リモコンスイッチを壁面に取付ける場合は、図1・図2の取付け方法を守ってください。



室温センサーの切替え方法

室温センサーは、室内ユニットとリモコンスイッチに内蔵されています。室温センサーは、どちらか一方で操作します。通常は室内ユニット側に設定されていますが、リモコン側へ切り替えるには以下の手順で設定します。

- ① [点検] + [セット] + [取消] ボタンを4秒以上押しします。
注) 最初に表示されるユニットNoはグループ制御の親機の室内機アドレスです。
注) [ユニット選択] ボタンを押さないでください。
- ② 温度設定 [▲] / [▼] ボタンで、項目コード 32 を指定します。
- ③ タイマー時間 [▲] / [▼] ボタンで、設定データを0000から0001に変更します。
- ④ [セット] ボタンを押します。(表示が点滅から点灯に変わればOK)
- ⑤ [点検] ボタンを押します。
通常の停止状態になります。この時、液晶表示部には「リモコン」と表示されます。
注1) 2リモコン制御の時は、親リモコン/子リモコンのどちらからでも設定できますが、リモコンセンサーになるのは親リモコンです。
注2) グループ制御時はグループアドレスが親機の室内ユニットに設定しないとリモコンセンサーが働きません。
注3) リモートセンサーとリモコンスイッチを併用する場合はリモコンスイッチのリモコンセンサーは使用しないでください。

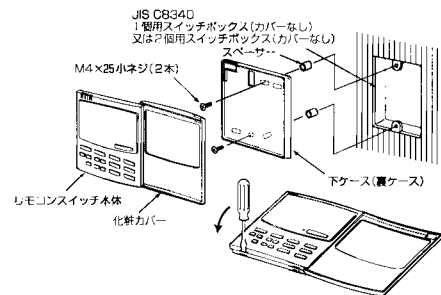
換気扇との接続について

室内コントロール基板上の換気扇出力 (FAN DRIVE : 2P(白), DC12V) (注) で市販の換気扇等を運転する場合は、[換気] ボタンによって操作可能にする、設定変更を行ってください。

- ① [点検] + [セット] + [取消] ボタンを4秒以上押しします。
注) 最初に表示されるユニットNoはグループ制御の親機の室内機アドレスです。
注) [ユニット選択] ボタンを押さないでください。
- ② 温度設定 [▲] / [▼] ボタンで、項目コード 31 を指定します。
- ③ タイマー時間 [▲] / [▼] ボタンで、設定データを0000から0001に変更します。
- ④ [セット] ボタンを押します。(表示が点滅から点灯に変わればOK)
- ⑤ [点検] ボタンを押します。
通常の停止状態になります。[換気] ボタンを押して、液晶表示部に「換気」と表示されることを確認してください。
(注) 信号を無電圧A接点に変換する専用アダプタ (別売品) が必要になります。

リモコンスイッチの取り付けかた

- 〈注1〉 リモコン配線は、電源配線などといっしょにより合わせたり、同一金属管内に収納しますと、誤動作の原因となりますので避けてください。
- 〈注2〉 リモコンスイッチは、ノイズの発生源から離して据付けてください。
- 〈注3〉 ユニット電源にノイズを誘導している場合は、ノイズフィルタを取り付ける等の処置が必要です。
- リモコンスイッチを埋込型としてご使用の場合は、あらかじめ現地で壁内に埋込まれた下図に示すJISボックス(現地手配)に取り付けてください。

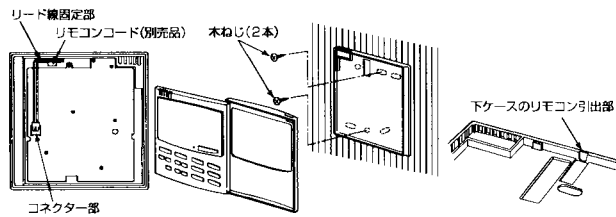


- ① リモコン本体の扉を開くと見えるリモコン本体下側の溝にマイナスドライバー等押しこんであげ、裏ケースを外してください。
- ② リモコンスイッチ裏ケースを付属のM4小ネジ(2本)を使用して固定します。なお、取り付ける前に使用する JIS BOX に対応するビス用穴をドライバー等で押しあけてください。
固定のときは、スペーサーを使用し、あまり強く締めないでください。リモコンスイッチが壁に密着しないときは、スペーサーを切って調整してください。
- ③ リモコン配線(2芯)を、リモコン本体からの電線と接続してください。(リモコンスイッチの配線のしかたの項を参照してください。)
リモコンの配線は、室内ユニットの端子番号を確認の上、誤配線のないよう接続してください。(AC 200Vを印加するとこわれます。)

ワイヤードリモコン / RCS-SH80B, SH80A...別売品 施工

④リモコンスイッチ本体を裏ケースのツメに合わせ、はめ込み、取り付けてください。

●**露出型としてご使用の場合は**、リモコンスイッチが固定できる壁面に取り付けてください。



①リモコンスイッチ本体と裏ケースのはずし方及び取り付け方→埋込型としてご使用の場合の項を参照してください。

②リモコンスイッチ本体のリード線固定部に巻き付けてあるリード線を外し、コネクター部を外してリモコンコード(別売品)をリモコンスイッチ本体のコネクター部に接続してください。リモコンコード(別売品)を溝に入れて整形後、リード線固定部に巻き付けてください。

なお、リモコン配線は、下ケース(中央上部の肉薄部)をニッパー等で切り欠き、この部分より出してください。(図-A)

(リモコンスイッチの配線のしかたの項を参照してください。)

リモコンの配線は、室内ユニットの端子番号を確認の上、誤配線のないよう接続してください。(AC 200Vを印加するとこわれます。)

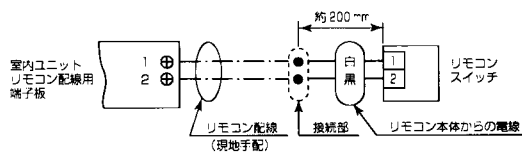
③リモコン本体を木ねじ(2本)を使用して固定します。

④リモコンコードはコードクリップ(別売リモコンコード付属品)を使用して壁面に固定してください。

リモコンスイッチの配線のしかた

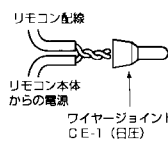
埋込型としてご使用の場合

●接続図



●配線は0.5mm²~2mm²を使用します。

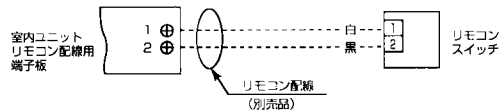
付属のワイヤー
ワイヤード
ジョイント
(白色、2個)



- ①接続する電線の被覆を約14mmむきます。
- ②2本の電線をより合わせてワイヤージョイントにて、圧着接続します。
- ③専用圧着工具を使用しない場合は、または、ハンダ付接続の場合は、絶縁テープにて絶縁処理をしてください。

露出型としてご使用の場合

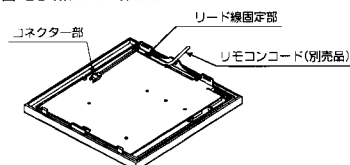
●接続図



●リモコン配線は、リモコンコード(別売品)を使用します。

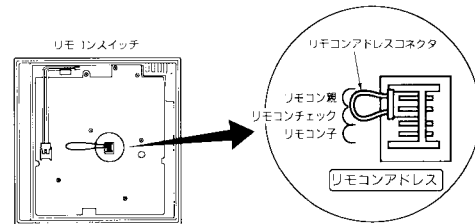
①リモコンスイッチ本体のリード線固定部に巻き付けてあるリード線を外し、コネクター部を外してリモコンコード(別売品)をリモコンスイッチ本体のコネクター部に接続してください。リモコンコード(別売品)を溝に入れて整形後、リード線固定部に巻き付けてください。

②リモコンコード(別売品)を使用の場合にはリモコンコードに添付されている据付工事説明書を参照してください。



リモコンスイッチを複数個設置される場合のお願い

この2リモコン制御は、1台もしくは複数台のユニットを、複数個のリモコンで操作するものです。(最大2個まで設置可能です。)



●設置の方法

この制御を行う時は、次の手順にて設置をしてください。

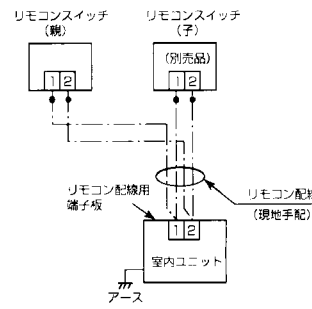
- ①複数個設置した中の1個は親リモコンとしてください。(工場出荷状態)
- ②その他のリモコンは、リモコンスイッチ基板のリモコンアドレスコネクタを親→子にさしかえてください。この状態にて子リモコンとして機能します。

●基本配線図

注：配線は誤配線のないように接続してください。(誤配線するとこわれます。)

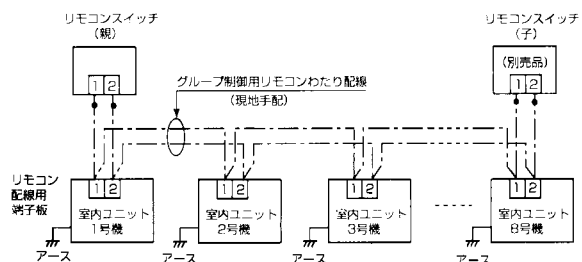
(誤配線するとこわれます。)

●室内ユニット1台を、リモコン2ヶ所設置にて操作する場合。



●複数台グループ制御を、リモコン2ヶ所にて操作する場合。

※親、子リモコンはいずれの室内ユニットに取り付けても動作します。



リモコン試運転設定

①リモコンの「点検」ボタンを4秒以上押し液晶表示部に「試運転」と表示されてから、「運転/停止」キーを押してください。

●試運転中は液晶表示部に「試運転」と表示されます。

●「試運転」の位置では温度調節はできません。

機械に無理がかかりますので試運転時以外は使用しないでください。

②「試運転」は暖房、冷房、送風のいずれかの運転モードでご使用ください。(注) 電源投入後、および運転停止後約3分間は室外ユニットは運転しません。

③試運転終了後は再度「点検」ボタンを押して液晶表示部の「試運転」消灯を確認してください。

(このリモコンは連続試運転を防止するために、60分タイマ解除機能付となっています。)

リモコンスイッチの警報表示の内容

〔○:点灯 ☼:点滅 ●:消灯〕

検出内容		表示	ワイヤレスリモコンランプ表示 RCS-SH(BH)80U.WL
シリアル通信異常・誤設定	リモコンが、室内からの信号の異常を検出	シリアル信号の受信不良 (グループ制御の場合は親機からの信号) 室外システムアドレス、室内ユニットアドレス、室内ユニットの個別/親/子設定が未定 (自動アドレス未完了)	E01
		シリアル信号の送信不良	E02
	室内がリモコン (かつ集中制御) からのシリアル信号の受信不良		E03
	設定不良	室内ユニットアドレスの重複	E08
		リモコン設定の重複	E09
	室内が、信号オプションからの信号の異常を検出	シリアル信号の送信不良	E10
		シリアル信号の受信不良	E11
	設定不良	フレキシブルコンビネーション制御の親機重複 (室外ユニット検出)	E14
	室内が室外からの信号の異常を検出	シリアル信号の受信不良	E04
		シリアル信号の送信不良	E05
	室外が室内からの信号の異常を検出	シリアル信号の受信不良 (台数確認不良も含む)	E06
		シリアル信号の送信不良	E07
		自動アドレス失敗	室内ユニットの容量が少ない 室内ユニットの容量が多い 室内ユニットが1台もない
	室内が、他の室内からの信号の異常を検出	シリアル信号の送信不良	E17
シリアル信号の受信不良		E18	
ユニット間通信異常	MDCとの通信不良	E31	
誤設定	設定不良	室内ユニットグループ設定異常	L01
		室内ユニット、室外ユニットの機種不一致	L02
		グループ制御の親機重複 (室内機検出)	L03
		室外ユニットアドレス重複 (システムアドレス)	L04
		個別室内ユニットにグループ配線あり	L07
		アドレス未設定またはグループ未設定	L08
		室内ユニット能力未設定	L09
		室外ユニット能力未設定または設定不良	L10
		グループ制御線の誤配線	L11
	室内ユニット機種設定不良 (能力)	L13	
天井パネル接続不良		P09	
保護装置動作	室内保護	送風機保護サーモ	P01
		フロートスイッチ	P10
	室外保護	吐出温度異常	P03
		欠相検知、AC電源異常	P05
		完全ガス欠異常	P15
		四方弁ロック異常	P19
		冷房高負荷	P20
		室外ファン異常	P22
		インバーター圧縮機異常 (HIC基板)	P26
		インバーター圧縮機異常 (MDC)	P29
		フレキ制御異常	P31
コンプレッサー電流値不良 (過負荷)	H01		
サーミスター異常	サーミスターオープン・ショート (室内)	室内コイル温度センサー E1	F01
		室内コイル温度センサー E2	F02
		室内コイル温度センサー E3	F03
		室内温度センサー	F10
	サーミスターオープン・ショート (室外)	吐出温度 TD	F04
		室外コイル温度 C1	F06
		室外コイル温度 C2	F07
		外気温度 TO	F08
		サクシジョン温度 TS	F12
		室内EEPROM異常	F29
室外EEPROM異常	F31		